

東京都糖尿病医療連携推進事業の評価検証指標

プロセス指標

連携推進の状況を把握するためのプロセス指標については、厚生労働省の指針に掲載された「地域連携クリティカルパスの導入率」に加え東京都独自の指標を設定し、主として診療所における医療連携の広がりを把握する。また、プロセス指標を大きく2つに区分し、(1) 連携に必要な基盤をあらわすものと(2) 連携の進捗状況をあらわすものに分けて管理する。

(1) 連携に必要な基盤をあらわすもの(ストラクチャー指標)

項番	指標 (把握方法)		実績		
1	「ひまわり」の糖尿病関連項目より 毎年3月時点		合計	病院	診療所
	①	外来 経口糖尿病薬の導入	2,516	314	2,202
	②	経口糖尿病薬で血糖管理が安定している患者の治療継続と調整	2,534	309	2,225
	③	診療 インスリン療法の導入	1,446	305	1,141
	④	インスリン治療中患者の治療継続及び調整	2,046	321	1,725
	⑤	患者教育 (食事・運動療法・自己血糖測定)	1,414	268	1,146
	⑥	糖尿病患者への栄養指導	1,266	295	971
	⑦	糖尿病患者への運動処方	705	130	575
2	糖尿病医療連携に参画する多職種の数 毎年3月時点		<p>各主催団体からの情報提供により、予防推進医(東京都医師会)や日本糖尿病療養指導士(日本糖尿病療養指導士認定機構)、地域における糖尿病療養指導士(NPO法人西東京糖尿病臨床研究会)の人数を把握する。</p>		
	指標		合計		
	①	都内における「東京都医師会糖尿病予防推進医講習会」受講者の数(東京都医師会)	739		
	②	都内における日本糖尿病療養指導士認定機構の認定する日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の数 (日本糖尿病療養指導士認定機構) ※都内就労者数	1,383		
③	地域で認定した糖尿病療養指導士(LCDE)の数 (NPO法人西東京糖尿病臨床研究会) ※都内就労者数	1,040			

(2) 連携の進捗状況をあらわすもの

項番	指標 (把握方法)	実績			
1	地域医療連携クリティカルパスの導入率 毎年3月時点	平成23年3月時点 6.62%			
	<p>東京都医療機関案内サービス「ひまわり」から「糖尿病の地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数」(A)を抽出し、データ抽出時点の「ひまわり」で「糖尿病関連項目に1項目以上該当がある医療機関(病院及び診療所)数」(B)における割合を算出する。【A/B×100 (%)】</p>	<table border="1"> <tr> <td>A (パス導入医療機関数)</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>B (糖尿病関連項目該当医療機関数)</td> <td>2,977</td> </tr> </table>	A (パス導入医療機関数)	197	B (糖尿病関連項目該当医療機関数)
A (パス導入医療機関数)	197				
B (糖尿病関連項目該当医療機関数)	2,977				
2	<p>地域ごとの連携率 2年に1回実施</p> <p>糖尿病医療連携における「空白地帯」の埋まり具合を把握するためのアンケート調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都内の病院及び診療所(およそ12,750件)に対する一斉調査 ○アンケートは7から8項目で回答時間は5分以内程度の容量にする。 <p>【項目例】</p> <p>「他の医療機関との連携を行っているか」、「行っている場合、連携先は?」、「行っていない場合、連携の必要性を感じているか」、「最近1ヶ月間での紹介・逆紹介した人数」 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○所在地(所属医師会)も回答してもらい、地域ごとの分布状況や特性を分析する。 				

※記載している数値は、平成23年4月～5月に収集した数値